



2013 国際保健医療協力研修

明日のグローバル保健医療人材をつくる

募集要項

豊富な活動フィールドを持つ NCGM ならではの国際保健医療協力研修

国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、日本を代表する国際保健医療協力の拠点として、開発途上国の医療や保健衛生の向上を図るため、世界保健機関、外務省、JICA および国立病院機構などと連携して技術支援や途上国からの研修員の受入れなどを行っています。

これまでにアジア・アフリカ・中南米の国々で様々な技術協力プロジェクトを展開し、現在は 15 のプロジェクトが進行中です。また、開発途上国から多くの研修員を受け入れており、その数は約 130 カ国、延べ 2500 名に上ります。

昨今のテロに代表される国際不安の中、“Human Security”（人間の安全保障）という新しい概念が世界の共通認識となりつつありますが、これを達成するためには、国々の、特に開発途上国の人々の健康の保持増進が最も重要であり、その意味でも改めて国際保健医療協力の重要性が叫ばれています。

NCGM 国際医療協力局は、健康格差のない世界を目指して今後も積極的に国際協力活動を展開してまいります。そのためにも、若い世代の人材育成がより一層期待されています。



到達目標

1. 国際保健医療協力に必要な基礎的な知識および関連する手法を習得する。
2. 基礎的な知識や手法を基に、国際保健医療協力の現場での実践を通し、応用力を養う。

国際保健医療協力を多角的に学ぶ 充実のコース内容

NCGM では、国際保健医療協力を担う日本人の人材を養成するためのより実践的な研修として「国際保健医療協力研修」を実施しています。専門家による講義を中心とした「コア研修」と、海外でのフィールド実習で国際協力の現場を体験する「フィールド研修」の 2 部構成によって国際保健医療協力を多角的に学べるコースです。「コア研修」で国際保健医療協力の基礎知識を習得するとともに、「フィールド研修」で体験的に実践力を養い、グローバル保健医療人材を育成します。

2 部構成の研修コース

コア研修

国内での講義および演習

国際保健医療協力に関する基礎知識、問題解決方法や開発に関連した手法を学びます。

フィールド研修

海外でのフィールド実習

現状把握や情報収集、問題点の把握および解決策を見出す一連のプロセスを体験的に学びます。

2013 第4回国際保健医療協力研修

国際保健医療の分野で活躍を希望される参加者を募集します

国際保健医療協力研修は、2010年に新設され、今年度で4回目を迎えます。今年度は9月30日より約2週間のプログラムで開催いたします。

日本国内でのコア研修と海外でのフィールド研修で構成しています。コア研修は、NCGM 国際医療協力局の専門家をはじめ、分野に応じて外部から招いた講師が講義を担当し、実務経験が豊富な専門家から、活動事例などを盛り込んだ実践的な内容を直接学べる機会を提供しています。

フィールド研修は、現地の保健省への訪問や、総合病院や地域病院の視察も含まれ、国際的に活動フィールドを持つNCGMのネットワークを活かした内容になっています。同行する複数の専門家によるサポート体制も整っていて安心です。

国際保健医療の分野で活躍を希望される参加者を募集します。詳細・申込方法は、NCGM 国際医療協力局のホームページでもご案内しています。

<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

研修期間

2013年9月30日(月)～10月15日(火) [16日間]*

コア研修：9月30日(月)～10月4日(金)

フィールド研修：10月5日(土)～13日(日)

まとめ・報告会：10月14日(月)～15日(火)

場所

コア研修：国立国際医療研究センター 研修センター4階

フィールド研修：ベトナム社会主義共和国(予定)

募集人数

15名程度

参加費

約25万円** (旅費、宿泊費、教材費および諸経費)

*上記の全行程の参加を原則とします。ただし、事情により止むを得ない場合にはコア研修5日間のみでの参加も可能です。(応相談)

**研修中の食費等の生活関連費は別途自己負担となります。

日程表

9月30日[月]

【コア研修】

開講式
オリエンテーション
国際保健医療協力概論
国際機関、ODAと援助協調、JICA
人間の安全保障

10月1日[火]

開発援助
社会的企業・BOP
フィールド実習について
緊急医療援助と国内災害支援
日本の保健行政のしくみ

10月2日[水]

保健システム概論
母子保健概論
感染症対策概論
プライマリーヘルスケアと
ヘルスプロモーション
社会的調査 インタビュー方法

10月3日[木]

問題解決手法

10月4日[金]

問題解決手法

コア研修についての評価

フィールド研修準備(グループワーク)

10月5日[土]

【フィールド研修】

各自フィールド研修出発準備

10月6日[日]

成田空港集合

ハノイ着

10月7日[月]

バックマイ病院訪問

ホアビン省へ移動

保健局(省病院)訪問

10月8日[火]

(ダバック)郡病院訪問

(カオソン) コミューンへ移動

10月9日[水]

ホアビン省総合病院にて

グループワーク

10月10日[木]

10月11日[金]

ホアビン省総合病院にて報告会

ハノイへ移動

10月12日[土]

自由行動

空港へ移動 帰国へ

10月13日[日]

成田着後 解散

10月14日[月]

まとめ・プレゼン準備

10月15日[火]

発表・評価会・修了式

日程と内容は変更になる場合があります。

応募資格

- [ア] 原則として、現在、保健医療職に就き、国際協力を携わる事を希望する者。または国際協力等の経験を有する者で今後も国際協力を携わる事を希望する者。
- [イ] それぞれの専門領域での実務経験が概ね3年以上である者。
- [ウ] 心身共に健康である者。
- [エ] 一定以上の英語力を有する者。
- [オ] 上記[ア]～[エ]の条件を満たし、研修の全日程に参加可能な者。

*応募者数が定員に達した場合には、上記基準により、研修事務局にて参加者の選考を行う。

*フィールド研修中は、ベトナム語と日本語の通訳が同行するが、訪問施設先で英語での討論もありえる。日常会話程度の英語力を保有していることが望ましい。

応募手続

次の書類を**国立国際医療研究センター国際医療協力局 研修企画課**宛にお送りください。

応募書類は NCGM 国際医療協力局ホームページ「イベント情報」からダウンロードできます。<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

締切：平成 25 年 7 月 24 日（水） 必着

応募書類

- [ア] 応募申込書 [様式 1]
- [イ] 履歴書 [様式 2]
- [ウ] 健康診断書 [様式 3]
- [エ] 応募の理由・動機・応募に至る経緯 [様式 4]

*健康診断書は、コア研修開始前までの提出でも可。

書類送付先

郵送： 〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
国立国際医療研究センター
国際医療協力局 研修企画課
Email： kensyuka@it.ncgm.go.jp

修了証書の授与

9割以上の出席者に対し、修了証書を授与します。

受講者の決定

書類選考により決定し、書面にて本人宛に通知します。

宿泊施設

宿泊を希望する受講者には、国立国際医療研究センター内 第3研修棟宿舎をご利用いただけます。受講決定次第、希望者には宿泊案内を送付します。

*室数には限りがあります。



研修事務局

国立国際医療研究センター
国際医療協力局 研修企画課
〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
TEL：（代表）03-3202-7181（内線）2704
（直通）03-5273-6826
担当（田鍋）：kensyuka@it.ncgm.go.jp